

大学運営会議議事録

開催日 及び場所	令和6年10月10日(木) 午後2時00分から午後2時30分まで 特別会議室 Web (ZOOM) 会議同時実施
-------------	---

出欠状況	出席:35名 欠席:5名
------	--------------

1 報告事項

- (1) 第38回 剣祭開催
- (2) 第28回 橘花祭開催
- (3) 令和6年度 防災訓練実施
 - ① 草薙キャンパス
 - ② 小鹿キャンパス
- (4) 東大 IPC 主催 起業支援プログラム「1st Round」参加
- (5) 令和6年度 FD研修会開催

2 その他

- (1) 令和6年度 静岡県ふじのくに防災士養成講座開催
- (2) 令和7年度 静岡県公立大学法人当初予算編成方針

- ・前回議事録(案)の確認

令和6年9月の大学運営会議議事録(案)について、案のとおり承認された。

1 報告事項

- (1) 第38回 剣祭開催(説明者:細川学生部長)

静岡県立大学草薙キャンパスにおいて、10月26日、27日の両日で剣祭を開催する。

テーマは「宴」とし、剣祭実行委員会によるイベント、クラブ・サークルによるイベント、模擬店の3つのイベントを実施する。

剣祭実行委員会のイベントとして、10月26日の午後に各学部の教員による模擬授業を開催する。また、外部アーティストとして「コレサワ」によるコンサートを開催する。

健康支援センターからは、食中毒予防についての案内文を事前に発出しており、模擬店は、保健所及び食品栄養科学部の教員からの指導を受けて実施する。

3つのイベント企画以外では、清水の芸子による舞踊紹介が予定されている。

10月12日は、有度地区の自治会への協力要請のため、実行委員がポスターを持参の上、訪問する予定である。

<補足説明>

・剣祭初日の10月26日は、生涯健康サイエンスフェスメインセッションが同時開催される。今年度は2日に分けて開催しており、9月27日にプレセッションとして、USフォーラムを開催した。多くの来場があり、感謝申し上げます。

メインセッションは10時30分から開始予定であり、午前は高校生による研究セッションと、静岡大学、浜松医科大学、静岡社会健康医学大学院大学、本学の県内4大学による最

新の取組に関するポスター展示を実施する。午後は2つの講演を予定しており、講演1では筑波大学の中田先生からの講演、講演2では神戸大学の榊原先生からの講演があり、多くの方の参加をお願いする。

なお、事前に配布したチラシの申込期限は10月4日であるが、申込受付を延長しているため、参加申込をお願いする。(構成員)

(2) 第28回 橘花祭開催(説明者: 仲井短期大学部学生部長)

静岡県立大学小鹿キャンパスにおいて、11月9日、10日の10時から15時までの時間帯で橘花祭を開催し、両日ともに一般公開する。

テーマは「Rainbow in おしか」とし、各学科・専攻による展示発表及び模擬店がある。

模擬店に関しては、保健所へ申請済みであり、調理に当たっては、小鹿キャンパス教育棟1階の調理栄養実習室を使用する。

その他、実行委員会ではスタンプラリー等を実施し、有志による企画では11月10日の10時から14時の時間帯でお茶会を開催する。また、短期大学の同窓会によるホームカミングデー、静岡市と静岡こども学研究所による県短 子育て支援ひろば、本学部の入学者選抜実施委員会による入試相談会、静岡市社会福祉協議会によるブース出展を同時開催する。

(3) 令和6年度 防災訓練実施

① 草薙キャンパス(説明者: 大村総務部長)

学生、教職員、委託業者等の参加型防災訓練を年1回実施しており、今年度は11月12日(火)10時40分から2時限の時間帯に実施する。

訓練内容は、10時50分に駿河湾から遠州灘を震源とするマグニチュード7の地震が発生し、地震に伴い学内で火災が発生したとの想定で実施する。

晴天時は、静岡県危機管理部による学生への講話、静岡市危機管理総室による避難所設営訓練の実施を検討しており、雨天時は、訓練内容を縮小して実施する。

訓練実施判断について、晴天・雨天の判断は、前日又は当日8時40分までに決定し、教職員に連絡をする。訓練中止基準に該当する場合は、訓練を中止し、同様の方法で全教職員に連絡する。

当日の服装は、ヘルメットの着用をお願いする。また、防災服及び防災靴を貸与されている方は、同様に着用をお願いする。訓練の詳細は、全教職員にメールで資料を配付するため、訓練前までに確認をお願いする。

災害が発生した際、被害を最小限に食い止めることができるよう、訓練への参加、協力をお願いする。

<補足説明>

・本訓練は抜き打ちで実施するため、学生には事前の周知をしないようお願いする。また、学生の避難訓練が重要項目となるため、教員におかれては、学生の避難地までの誘導をお願いする。講話は、昨年未実施であったが、今年は実施する方向で調整中である。

新たな取組として、静岡市との協定では本学体育館が避難所とされており、静岡市が今回の訓練において避難所設営を行う予定である。また、今年度清水銀行から「どこでもく〜も」

が寄贈され、避難所のパーテーションとして同様に体育館での設営訓練を行う。(議長)

② 小鹿キャンパス(説明者:栗田事務局次長兼短期大学部事務部長)

10月31日(木)9時から12時の時間帯で防災訓練を実施する。

訓練の対象者は、看護学部及び短期大学部の学生、教職員に加え、地元の自治会、事業所の方にも訓練に参加いただく。

内容は、駿河湾から遠州灘を震源域とするマグニチュード7の地震が発生し、併せて学内で火災が発生したことを想定した避難訓練を行う。

具体的には、グラウンドへの避難訓練、安否情報システムへの入力訓練、自衛消防隊各班による訓練を予定している。その他個別訓練として、静岡市の駿河消防署の協力による担架搬送訓練、煙体験訓練、消火器訓練等を行う。また、県の中部地域局危機管理課の協力による防災講習会の開催を実施する予定である。

雨天時等の対応は、避難場所をグラウンドから体育館に変更し、訓練内容を縮小して実施する。また、訓練中止基準に該当した場合には、訓練を中止する予定である。

(4) 東大 IPC 主催 起業支援プログラム「1st Round」参加(説明者:藤村教育研究推進部長)

東大 IPC 主催の起業支援プログラム「1st Round」に参加することについて、ご報告いたします。

本学は、昨年度に Tongali(東海発アントレプレナーシップ教育・起業家支援プログラム)に参画した。現在までの大学発ベンチャーに対する本学の活動の中心は、大学発ベンチャーを認定することであるが、起業して間もない時期の具体的な支援としては不十分である。

本課題を解決するべく、しずおかフィナンシャルグループ傘下の静岡キャピタル株式会社から紹介を受け、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社(以下、「東大 IPC」という。)の紹介をいただいた。同社は、ベンチャーの創出に対する有効な支援、アカデミア発のイノベーションの社会実装を支援することを目的とした、東京大学 100%出資の投資事業会社である。

今回本学が共催する「1st Round」は、設立3年以内のベンチャーの資金調達、資金獲得のための環境整備が支援内容となっており、本学が共催機関となることにより、大学発ベンチャーが支援を受けることができるというものである。また、学生が起業をしているケースもあり、支援申請のほか、起業に関する相談の場としても活用いただければと思う。なお、共催機関となるための本学の費用等は発生しない。

支援等を受けるに当たっては、大学発ベンチャーから直接的に要求又は申請するという流れであり、大学を通しての対応とはしない。

現在、東大 IPC の「1st Round」には、国立大学を中心に大学等研究機関 22 機関が共催しているが、今般、公立大学として初めて本学が参画する。今後は本制度を積極的に活用いただき、創設間もない大学発ベンチャーが資金調達及び会社運営支援を受け、企業の発展に繋げていただければと思う。

<意見>

・プレスリリースは既にされているか。(議長)

<回答>

・東大 IPC では、既にプレスリリースされている。本学においては、大学運営会議での報告後、ホームページで本制度への参画及び情報を周知する。(説明者)

(5) 令和6年度FD研修会開催(説明者:小林副学長)

11月に全教職員を対象とするFD研修会を2件計画しているため、研修会開催について報告する。

1件目は、11月7日(木)の本学大学運営会議開催日の午後1時から2時20分までの時間帯において、広島大学ハラスメント相談室の北仲先生を講師とし、「キャンパス・ハラスメントはなぜ問題なのか」というテーマで研修を実施いただく。本件は、オンライン研修会とする。

共催団体は、全学FD委員会並びに食品栄養科学部、短期大学部及び事務局のハラスメント防止・対策委員会である。

なお、大学運営会議は午後2時30分から、通常の実行時刻から30分繰り下げての開催とさせていただきます。

2件目は、合理的配慮について問題となるケースが近年増えていることから、11月25日(月)の午後3時から4時30分までの時間帯において、岐阜聖徳学園大学の徳広先生を講師とし、「大学における合理的配慮と修学支援」というテーマで研修を実施いただく。

<補足説明>

・徳広先生は、今年の8月23日にも本学健康支援センター主催の研究会において、本学で講演いただいている。本講演では、合理的配慮を要する学生が近年増えていることや、実体験を踏まえた話もあった。修学支援においては、一部の教員間での共有ではなく、学生支援懇談会という形で、全教職員が問題点について共有していく必要があるという提言をされ、非常に興味深く拝聴したため、改めて今回の全学FD研修会においても講師として依頼した。多くの教職員の参加をお願いします。(構成員)

・後日、別途メールで周知する。(説明者)

<意見>

・2件目の研修会は、リアルタイムでのオンライン配信を行うか。(議長)

<回答>

・講義室での対面式で実施するため、リアルタイムでの配信は行わない。当日の様子は、動画撮影によりオンデマンド配信するため、視聴をお願いします。(説明者)

2 その他

(1) 令和6年度静岡県ふじのくに防災士養成講座開催(説明者:湯瀬情報センター長)

危機管理委員会地震対策部会の部会長として、情報提供のため報告する。

8月28日(水)に静岡県地震防災センターと静岡県立大学の共催で、令和6年度静岡県ふじのくに防災士養成講座の公開講座を実施する予定だったが、台風の影響により延期され、改めて10月16日(水)の13時10分から16時20分の時間帯において大講堂で実施する。

今年は能登半島地震の発生により地震の脅威を再認識し、その対策を行うためにも多くの方に受講をいただきたいと思います。本件について、事務局から再度全学に周知するため、確認をお願いします。

<意見>

- ・公開講座ということは、外部の方も参加するということか。また、外部の方への広報はどのように対応するか。(議長)

<回答>

- ・内部、外部、双方の参加がある。外部の方への広報は、地震防災センターを通じて行われている。(説明者)

(2) 令和7年度 静岡県公立大学法人当初予算編成方針 (説明者：影島事務局長)

令和7年度の静岡県公立大学法人当初予算編成方針について報告する。

事務局では、11月上旬を目処に、令和7年度当初予算編成方針の発出に向けた作業を行っている。来年度も、光熱費の高止まりに加え、給与改訂等に伴う人件費の大幅な増加の見込みである。

一方の収入は、県からの運営費交付金のほか、授業料の収入等があるが、来年度の大幅な増加は見込まれない。

以上の状況を踏まえ、現在事務局では昨年度に引き続き、県に対して運営費交付金、施設整備等に係る補助金等の支援の要望を行っている。具体的な数値等の詳細情報は改めての報告となるが、来年度の当初予算編成では今年度に引き続き、事業費の見直しや削減が想定されるため、協力をお願いする。

<補足説明>

- ・厳しい状況であることは確かであることから、協力をお願いする。(議長)

担当：経営財務室 市野 雄基